

Expressive Individualism, the Cult of the Artist as Genius, and Milton's Lucifer

Patrick Madigan 氏

Heythrop College (University of London)

本講演では、アメリカの社会学者ロバート・ベラー (Robert Bellah) とカナダの哲学者チャールズ・テイラー (Charles Taylor) が、西洋における現代の基本的なライフスタイルとして提示する「表現的個人主義 (expressive individualism)」について、いくつかの例をあげながら、その起源を探ります。歴史をさかのぼると、まず、19世紀に隆盛した、芸術家を「天才」として崇めるカルトに行き着きます。この天才崇拜は、現代においてすでに庶民に受け入れられ広く行き渡っています。さらにその起源をさかのぼると、ジョン・ミルトンの『失樂園』におけるルシファーの描写にまで行き着くことがわかります。ミルトンの作品の中で、ルシファーは、至高の被造物としてのイエスを否定するだけでなく、父としての神をも否定し、「私は、私以前に誰も知らないし、私は自ら出現した」と宣言するのです。それゆえ、現代の倫理として「表現的個人主義」に価値を置く限り、私たちは、人間的な成就、達成を求める原型としてのミルトンのルシファーに、暗黙の裡に肩入れさせられていると言えます。こうした検討を通じて、現代のライフスタイルを新たな視点から理解したいと思います。

*講演は英語で行われます (日本語通訳付き)

2012年9月28日 (金) 17:00 – 19:00

南山大学名古屋キャンパス J棟 1階特別合同研究室
(Pルーム)



← 携帯電話、スマートフォンから講演会情報が読み取れます。

問い合わせ

南山大学ヨーロッパ研究センター Fax:052-832-6825 E-mail:cfes-cfas-all@nanzan-u.ac.jp

社会倫理研究所 Fax:052-832-3703 E-mail:ise-office@ic.nanzan-u.ac.jp

<共通> Tel:052-832-3111 (代表) 〒466-8673 名古屋市昭和区山里町 18 番地